



別れと出会い

校長 惣田 修一

春は別れと出会いの時期です。

つい先日、副校長に昇任して小笠原村立母島小中学校に赴任した前大泉中学校主幹教諭の西伸一郎先生に電話をしてみました。西先生は、その時たまたま卒業生の見送りで港に来ていて、ちょうど船が汽笛を鳴らしながら遠く離れていくところでした。

船に乗っている卒業生は、この春、中学校を卒業したばかりのAさん女子1名、都立小笠原高校への進学が決まって、母島から父島へと出発する所でした。母島には島民を含めわずか470人しか住んでいないとのことですが、数日前に流された有線放送でAさんが母島を出ることを知った人たち約200人が見送りのため港に集まっているとのことでした。

天気も安定していて見晴らしも良い中、きっとAさんは目に涙いっぱい浮かべていたことでしょう。自分のために一生懸命手をふり、声援を送ってくれている先生や母島小中学校の子ども達、苦楽とともにした島民200人の姿が、だんだん遠くなっていく。その光景を目に浮かべながら考えてしまいます。「Aさんはどんな気持ちでいるのだろう」

やがて、声援はほとんどきこえなくなり、見送りの人たちも点のようになって完全に消えていく。その瞬間においても考えてしまいます。

「Aさんはどんな気持ちでいるのだろう。」

子どもの頃からの様々な思い出が、走馬燈のように頭をかけ巡り、やがて消えていく。しばらくは、その余韻に包まれながら船の甲板で風を受けながらぼーっと立ち尽くしている。しばらくして、今度は、気持ちを新たに、新天地都立小笠原高校への期待と不安が胸にこみ上げてくる。

母島は、東京とグアム島のちょうど真ん中ぐらいに位置する南の島です。

西先生は、東京を出発して、27時間かかってやっとのことで島に到着しました。その日は、波が高く彼は、船酔いでふらふらになりながら港に着きました。そしたらびっくり、そこには約200人の人たちが迎えに来てくれていて大歓迎を受けたそうです。

大泉中学校は、小笠原とは全く環境が違って、たくさんの生徒がいる大規模校です。しかしながら、Aさんのように、そしてまた、西先生が大歓迎を受けたように、たった1人に対してであろうと、たくさんの人たちの気持ちをひとつにして誠心誠意応援できる学校づくりをめざしていきたいと考えています。

4月9日（月曜日）入学式を終え、新入生260名（特別支援学級9名を含む）を本校に受け入れました。吹奏楽部による切れのある演奏の中、入場してきた新入生は、返事の声や態度が新鮮でこれからの3年間がとても楽しみです。今年の新入生の人数は、区内で一番多く、全校生徒数は750名となりました。

マンモス校ではありますが、生徒ひとりひとりを大切する教育を実践していく所存です。

一方、教職員にも大きな異動がありました。職員室内にも、伝統を堅持する風土に新しい風がふきはじめ、ますます躍進する大泉中学校を感じています。

今年度もよろしくお願いたします。



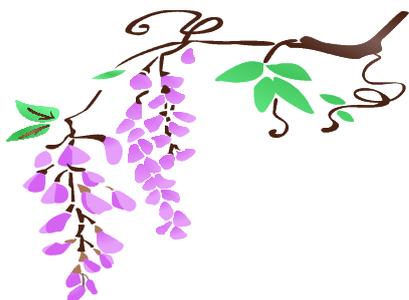
平成30年度 大泉中学校 教職員の異動

＜異動先等＞

＜退 職＞	主任教諭 教諭 教諭 教諭	数学 社会 保体 家庭
＜転 出＞	副校長 主幹教諭 主任教諭 主任教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 事務主事 育休代替教諭 育休代替教諭 生活支援員 臨時生活支援員 臨時生活支援員 臨時生活支援員 生活支援員 臨時生活支援員	家庭 英語 音楽 保体 理科 保体 英語 特支 特支 事務 家庭 理科 特支 特支 特支 特支 介助 介助
＜転 入＞	副校長 主幹教諭 主幹教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 主任教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 教諭 事務主任 学校生活支援員 学校生活臨時支援員 スクール・サポート・スタッフ	国語 理科 保体 社会 理科 保体 家庭 特支音楽 数学 音楽 保体 英語 特支理科 国語 英語 事務 特支 SSS
＜休職等＞	育児休業 教諭	英語

平成30年度の学級担任及び所属職員等一覧

校長		惣田 修一		副校長	菊池 知裕		
年	組	担任	副担任		養護教諭	保健	
1年	1	学年					
	2				都事務主事	事務	
	3				栄養士		
	4		研修		区事務補助員		
	5			臨時事務			
	6				スクールカウンセラー		
	7				心のふれあい相談員		
	10				学校施設管理員		
2年	1			学年			
	2						
	3					非常勤講師	
	4						
	5		生活				
	6				学力向上支援員		
	10	学級				学校生活支援員	
3年	1	学年					
	2				学校生活		
	3	進路			臨時支援員		
	4	教務			図書館支援員		
	5		道徳		スクールサポートスタッフ		
	6						
	7						
	10						



学年：学年主任

学級：10組主任

教務：教務主任

生活：生活指導主任

進路：進路指導主任

研修：研修主任

道徳：道徳推進教諭

保健：保健主任

事務：事務主任

第74回 入学式 新入生 誓いの言葉

新入生代表 瀬間 瑛介

若葉の緑が鮮やかになり、春風が心地よい今日、四月九日、たくさんの方々に歓迎されながら、この入学式を迎えられたことを本当にうれしく思います。

私は、この七十年の伝統ある大泉中学校の一員となれることを楽しみにしていました。入学前は、新しい生活が始まるということに、不安もありました。しかし、このアリーナに到着し、たくさんの方々にあたたかく迎えていただくと、中学校への希望と期待があふれてきました。

振り返ったときに「充実していた。」そう思える中学校生活を送るために、私は、なりたい中学生の姿を三つ掲げました。

一つ目は、自分の「なぜ」を追求できる中学生です。「なぜ」を常に追求すると、まず、物事に主体的に取り組むことができると思います。中学生は大人への第一歩です。「なぜ」と考えることで自立、つまり自ら考えて行動できるようになります。また、常に「なぜ」という好奇心を持つことで、思考力、判断力が養われます。人工知能などが発達するこの時代でも自分の個性を生かしていきます。

二つ目は、まわりへの感謝を常に忘れない中学生です。中学校では先生方や先輩方、友達から学習面、生活面共に様々なことを教わる機会が増えます。また、この三年間では運動会や合唱コンクールなどの学校行事でも大変なことがあると思います。しかし、大変な時こそ感謝を忘れないようにしたいです。周りの人に感謝することで、先生方や先輩方、友達との絆を強め、その絆をさらにかげがえのないものにしていきます。

三つ目は、失敗を恐れず何事にも積極的に挑戦することができる、中学生です。日々の生活を充実させるためには何か夢中になれるものを見つけることが必要です。それを見つけるためには、自分の知らない分野でも失敗を恐れずに挑戦することが大切だと思います。やったことのないことでも挑戦すれば自分の新たな一面を見つけられるかもしれません。もし失敗してしまってもその経験はむだにはならないと思います。私たちの可能性は無限大です。挑戦することを通してその可能性をどこまでも広げていきます。

最後になりましたが、地域の皆さん、先生方、先輩方、保護者の方々、みなさんのおかげで、今日の入学式をむかえることができました。本当に、ありがとうございました。そして、これからも私たち新入生をよろしくお願いします。

私たち新入生一同は主体性と好奇心を持ち、まわりへの感謝を常に忘れず、何事にも積極的に挑戦することを今ここに誓います。



平成三十年 四月九日 新入生代表 瀬間 瑛介

◆練馬区学校連絡メールの登録をお願いいたします。

練馬区教育委員会では、災害時や緊急時に、あらかじめ登録した保護者のメールアドレスに学校等からお子様の状況や防犯・行事などに関する情報を配信する「練馬区学校連絡メール」システムを平成25年9月より導入しています。本校では毎年、登録のお願いをし、多くの保護者の方に登録をいただいております。今年度もすべての保護者の皆様に登録をしていただきたくお願いいたします。(昨年度、登録いただいている保護者の皆様も、改めて登録していただく必要があります。)



各学年の保護者会にて、登録のご案内(登録手順書等)を配布いたします。よろしく申し上げます。